

父親支援を行う際のポイント

大阪教育大学
小崎 恭弘

研究全体の枠組み

課題1. 日本の父親の健康・生活実態把握（二次データ解析）

父親の健康・生活実態に関して、代表性の高い政府統計（国民生活基礎調査・社会生活基礎調査・21世紀出生時縦断調査などの解析と科学的根拠の提示

【目標】 父親支援の意義・必要性や支援が必要な事柄の把握

課題2. 父親支援の既存制度の把握（一次データ収集）

全国の1,700自治体、イクボス企業同盟加盟企業230社、NPO法人広場全協を対象に、質問票調査を実施し、父親支援の取り組みの実施状況の把握と困難な点の抽出【目標】 全国の先進的な父親支援の取り組みの整理と紹介

課題3. 父親支援の海外調査（既存資料のレビュー）

①各国の省庁や自治体の公式HPを対象とするインターネット調査による把握

②父親の健康に関する介入方法やその評価に関する系統的レビューの実施

【目標】 他の先進国の取り組みをもとに、日本の事業・評価ツールの開発に活用

課題4. 自治体の父親支援モデルの構築・評価（モデル構築・評価）

①すでに自治体が行っている父親支援事業の前後比較評価

②本研究班でモデル自治体とともに開発する父親支援プログラムの前後比較評価

【目標】 複数の父親支援事業・プログラムの効果検証と提示

知見は自治体関係者や父親支援に携わる方々への還元を目指す！

課題2 父親支援の既存制度の把握について

【目的】

全国自治体への調査を行い父親支援の取り組みについて、現状を明らかにし、我が国における父親支援の把握と課題整理を行う

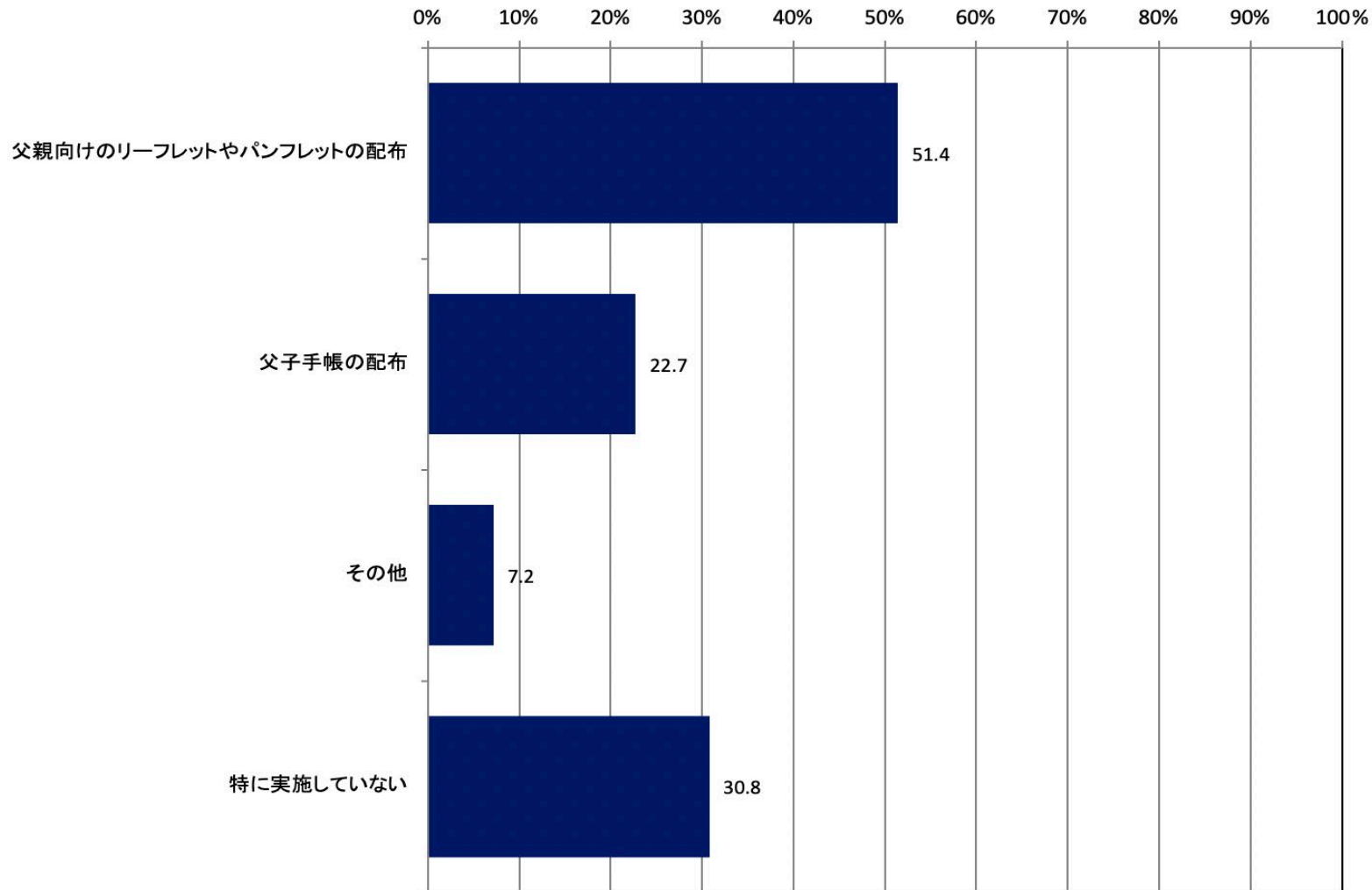
調査について

- 1.全国基礎自治体 母子保健担当者調査 2020年度実施
- 2.全国基礎自治体 子育て支援担当者調査 2020年度実施
- 3.全国基礎自治体 子育て支援担当者調査 2021年度実施

調査概要

項目	全国自治体 母子保健担当調査	全国都市自治体 子育て支援担当者調査
目的	母子保健領域の父親を対象とした支援の現状を把握し、その取り組みの方向性や理念について明らかにする。	子育て支援領域の父親を対象とした支援の現状を把握し、その取り組みの方向性や理念について明らかにする。自治体内の母子保健等の他領域のありようについて理解をする。
対象	全国の基礎自治体合計1,747箇所 母子保健部署の担当課長	全国の都市自治体（町村除く）814箇所 子育て支援担当部署の担当課長
期間	2020年12月～2021年2月	2021年12月～2022年1月
項目	父親支援の取り組み状況,自治体としての考え方や方向性,新型コロナの影響	父親支援の取り組み状況,自治体としての考え方や方向性,母子保健等他領域との連携について
方法	郵送法留め置き法による質問紙調査	郵送法留め置き法による質問紙調査
回収率	837件 （回収率48.1%）	351件 （回収率43.1%）

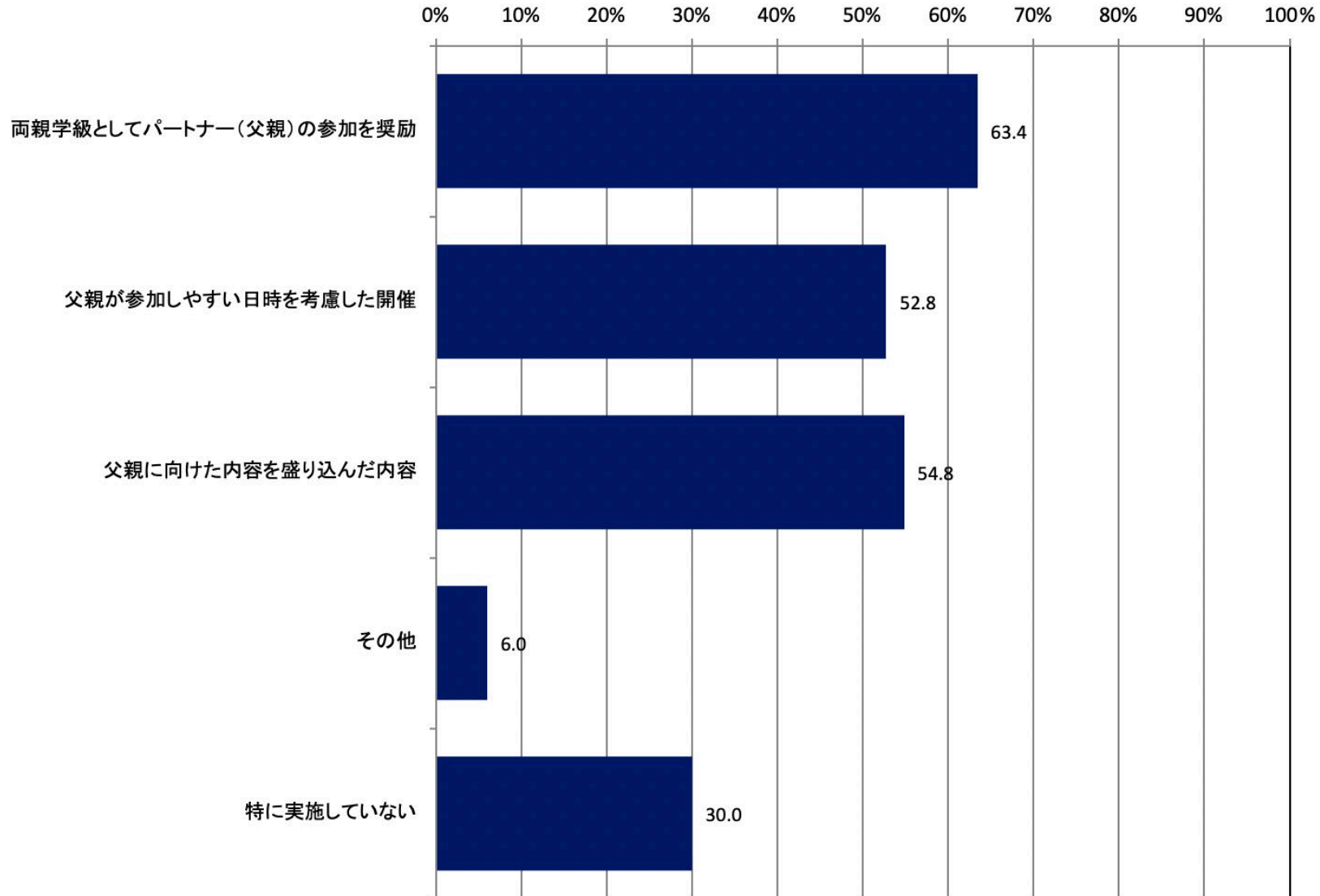
母子健康手帳の交付時



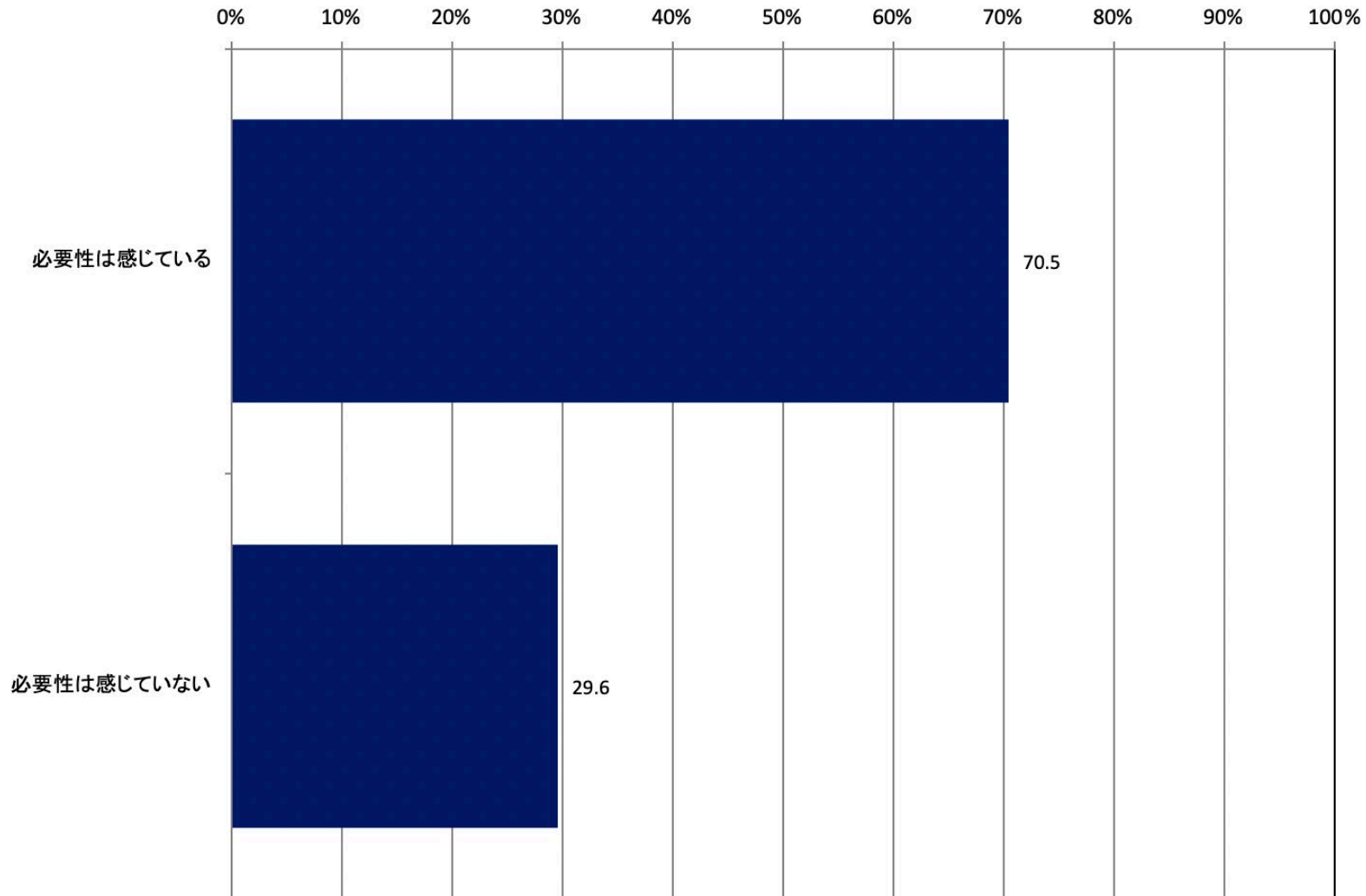
母子保健法内の業務において
父親支援の取り組みが
なされている

- ・ 母子手帳の交付
- ・ 妊娠期の両親教室
- ・ ハイリスク家庭の支援
- ・ 乳幼児健診

妊娠期の両親教室・父親教室



父親支援の必要性の意識



父親支援とは

- 父親が親としての本来の力が発揮できるようにするための、支援者のかかわり方や環境の整備、さまざまな取り組みやプログラムの総称。
 - 単に父親のためのプログラムをすることだけではありません。
 - 具体的には以下の4つのが達成できるように、様々に支援することです。
1. 父親が子育てについての正しい知識や理解、価値観を得られるように父親を**エンパワメント**する。
 2. 父親が母親との**パートナーシップ**について理解し、夫婦ともに子育てができるようにする。
 3. 父親が仕事や、生活、家庭、地域との良いかかわりができるように、**ワークライフバランス**を意識した生活者になれるようにする。
 4. 父親が積極的に育児や家庭生活の主人公として暮らしていけるように、地域社会の環境や身近な仲間との**ネットワーク**ができるようにする。

父親支援の3つのポイント



はじめる!



つながる!



そだてる!

はじめる!

○まずは父親支援はじめてみましょう

- 広い入り口を使いましょう 健診,母子手帳,両親教室
- 先行事例を参考にしてみましょう 全国の好事例集
- 時流を捉えましょう 男性産後育休・産後うつ,WEB両親教室

とはいえ、お金はどこから…

出産や子育てに悩む父親支援（産前・産後サポート事業の一部）

R5 概算要求額：産前・産後サポート事業16.3億円の内数

【令和3年度創設】

目的

- 家族との関わり方に対する不安や、男性の育児参加の促進に伴って生じる出産・子育てに関して悩む父親に対する支援のため、子育て経験のある父親等によるピアサポート支援や、急激な環境の変化による父親の産後うつへの対応を行う。

内容

◆ 対象者

出産・子育てに関して悩む父親

◆ 内容

（1）ピアサポート支援等

子育て経験のある父親や、現在子育て中の父親による交流会等の実施や、子育て経験のある父親による相談支援を実施することで、子育てに関する悩みや共有や情報交換を行い、さらに子どもや父親のライフステージに応じた子育ての方法を学ぶ場として、継続的な支援を実施する。

（2）父親相談支援

妻の妊娠・出産や子どもの誕生・成長によって生じる、父親自身における仕事のスタイルや生活環境の急激な変化に関する悩みやうつ状態に対応するため、相談支援や、そのために必要な知識を取得するための研修を実施する。



実施主体・補助率等

- ◆ 実施主体：市町村
- ◆ 補助率：国1/2、市町村1/2
- ◆ 補助単価案
 - ピアサポート支援等事業 月額 59,000円
 - 父親相談支援 月額154,800円

令和5年度 母子保健対策関係概算要求の概要 より

つながる!

○庁内と地域にパパの応援団を作しましょう

- ・トップに働きかけましょう 首長,上長などの意識改革
- ・外部の力を活用しましょう NPO,子育て支援,病院,企業
- ・ピアサポートを意識しましょう パパ友と父親を育児の主体に

身近な父親支援のネットワーク

NPO法人

ファザーリング・ジャパン

2006年設立

「父親のための父親による
父親の活動団体」

全国に4つのNPOと8つの支部
がある。（東北, 関西, 中国, 九州
等）



Fathering=父親であることを楽しもう

ファザーリング・ジャパンは、「Fathering=父親であることを楽しむ」を合言葉に、「よい父親」ではなく「笑っている父親」を増やすためにさまざまな活動を行っています。

そだてる!

○支援を通じて自治体を豊かに育てましょう

- 他の政策への発展 男女,人権,教育,保育,医療,地域
- 市民の力を活用しましょう 子育て支援から民生委員を
- 市民を育てましょう 未来と地域に男性を

父親支援は行政課題の解決の道しるべ

○個別的意義

児童虐待の防止

女性の活用と社会進出

男性のメンタルヘルス対策

子どもの育ちの促進

家族と家庭の安定

結婚への機運の醸造

ワークライフバランスの推進

○社会的意義

少子化対策

男女共同参画の推進

高齢者の地域活動対策

次世代を育てる社会的責任

男性ネットワークの構築

地域の活性化

人権意識の向上

父親支援はいいことだらけ!閉塞感を打ち破る新しい施策

父親のニーズ調査

実施時期：2022年6月1日～11月30日

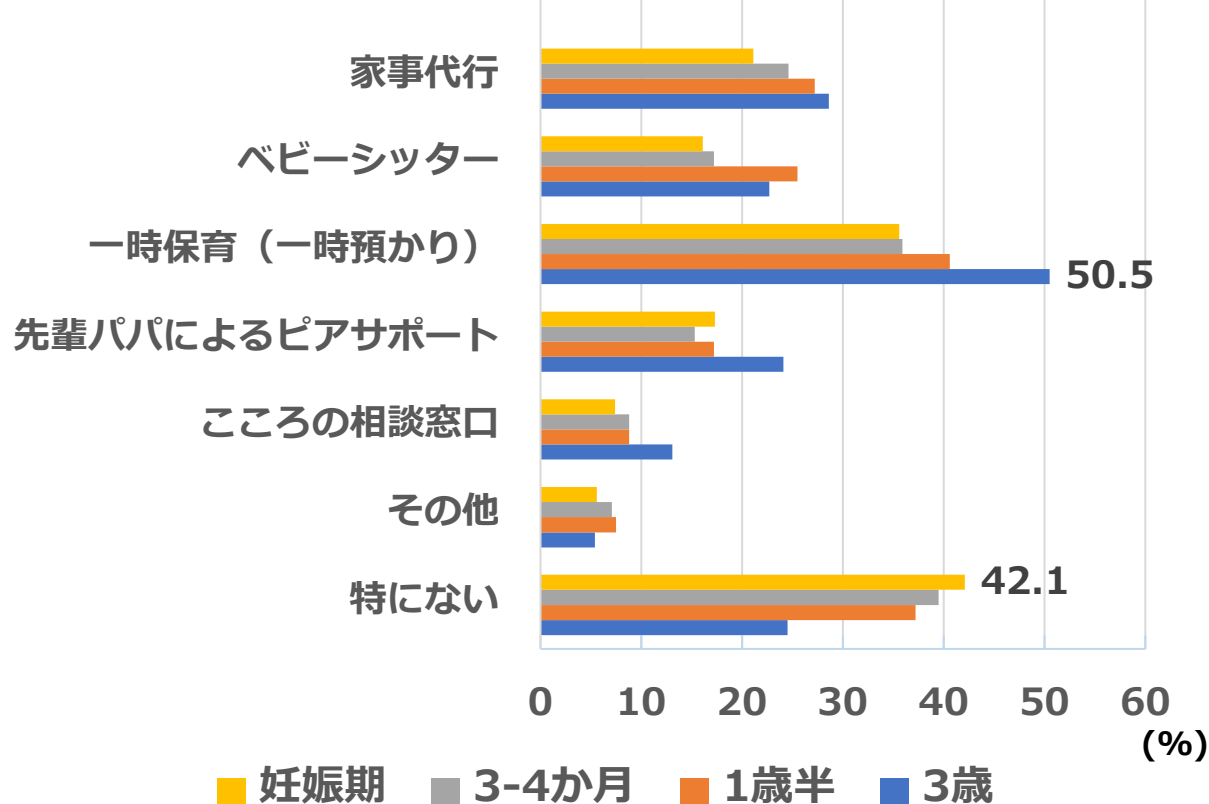
対象：各自治体において母子健康手帳の受取り又は自治体主催の健診に参加した家庭の父親または男性パートナー

実施方法：WEBアンケートへの回答

アンケート内容：父親または男性パートナーの子育てに関する価値観・不安、希望する具体的な支援など

回答者数：全国75自治体の配布協力のもと、有効回答数1,360件。

Q. あなた自身やあなたの子育てを支援するために、自治体サービスとしてあったら良いこと（複数回答）



その他、父親の主なモヤモヤや子育てに関する状況（調査回答の抜粋）

- ・一人の時間が欲しい：44.1%
- ・父親が子育てしやすいような制度・環境が整っていない：49.7%
- ・妻のイライラの原因がわからない：40.6%
- ・自分なりに家事や育児を頑張っているが認めてもらえない：33.1%
- ・家事や育児を夫婦で分担するのは当然である：95.6%
- ・子育てに関する情報源：妻83.9%、インターネット49.2%、子育て支援・保健センター職員：8.1%

【まとめ】

父親は自分が自治体から支援してもらえると想像・期待していない可能性がある。
夫婦間のコミュニケーション・相互理解の促進が一つのポイントであることが示唆された。

課題4 自治体の父親支援事業の構築・評価：児の誕生を控えた父親へのリーフレットを用いたオンライン父親講座の開発・評価（世田谷区オンライン父親支援講座）

【目的】 妊娠期36週以降の初めて子どもを持つ父親に対しリーフレットを用いた父親支援講座をオンラインで行い，効果を検証する。

【方法】 オンライン父親講座はzoomで40分程度，平日夜や土曜日に精神科医，心理士，地域子育て支援拠点スタッフが行った。

リーフレット：「新米パパのためのスタートガイドブック」（①父親育児の効果，②赤ちゃんに教えてもらおう，③パパのメンタルヘルス，④サポーターとつながろう）

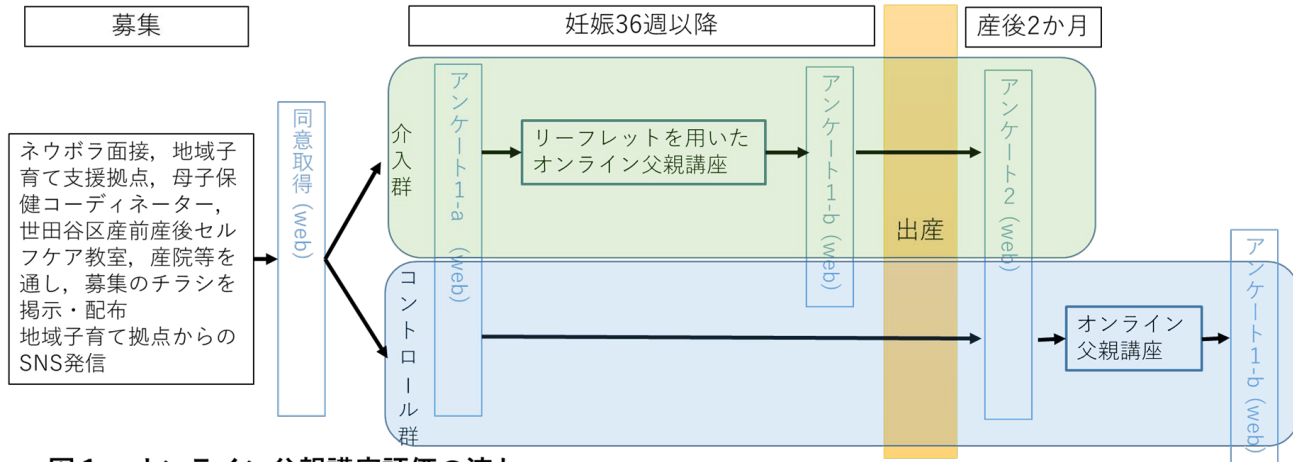


図1 オンライン父親講座評価の流れ

ネウボラ面接，地域子育て支援拠点，母子保健コーディネーター，世田谷区産前産後セルフケア教室，産院等を通し，募集のチラシを掲示・配布
地域子育て拠点からのSNS発信



アンケート1-a（父親・母親）

EPDS,赤ちゃんへの気持ち、育児への自己効力感、夫婦関係満足感

アンケート1-b（父親のみ）

赤ちゃんへの気持ち、育児への自己効力感

アンケート2（父親・母親）

EPDS,赤ちゃんへの気持ち、育児への自己効力感、育児ストレス、育児行動、夫婦関係満足感

【結果】

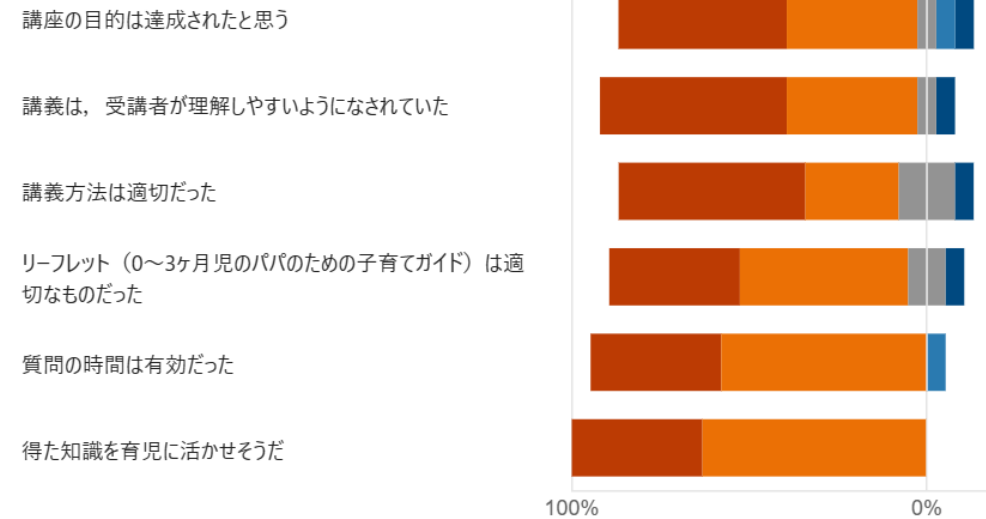
- 育児に対する自己効力感は，オンライン父親講座受講前よりも後で有意に高かった（n=16）

表1 オンライン受講前後でのMIBS・育児自己効力感の差

	受講前	受講後	t
MIBS	5.31 (3.05)	3.94 (2.35)	1.74
育児自己効力感	31.25 (10.37)	50.19 (6.08)	5.10 ***

- 参加者からの反応：受講満足度は総じて高かった

■ とてもそうだ ■ ややそうだ ■ どちらでもない ■ ややそうでない ■ 全くそうでない



でも一対談実施、縦断調査、生活様式も変更も認めて、母親だけでなく10%程度の父親が最後うっになる可能性があることがわかってきました。